

Cariot Ver1.100 リリースノート

2018年5月14日（月）

この資料では、該当バージョンで更新、追加される機能とそのインストール方法をご紹介します。

1. 稼働率レポート機能強化（時間フィルタ機能）
2. DriveCast機能強化（オンデマンド到着予測機能）

1. 稼働率レポート機能強化（時間フィルタ機能）Cariot

- エリアタブ - 稼働率レポートの機能強化を行いました。
 - 時間帯の指定による稼働レポート出力が可能

以前

稼働率レポート

表示期間 1日 1週間 2週間 1ヶ月 1年

表示開始 < 2018/05/10  >




台数	表示期間	最大同時稼働台数	平均稼働台数	合計利用時間
0台	2018/05/10	0台 (0.0%)	0.0台 (0.0%)	0.0時間

強化後

稼働率レポート

表示期間 1日 1週間 2週間 1ヶ月 1年

表示開始 < 2018/05/10  >

時間帯 0時 から 24時 まで

オプション

台数	表示期間	最大同時稼働台数	平均稼働台数	合計利用時間
11台	2018/05/10	3台 (27.3%)	1.5台 (13.6%)	33.0時間

1. 稼働率レポート機能強化（時間フィルタ機能）Cariot

－ 指定時間帯の拡大表示・集計



1. 稼働率レポート機能強化（時間フィルタ機能）Cariot

– 業務要件により、集計方法が変更可能

- 「アイドリング時間（A）を利用時間と見なして計算する。」
- 「データが存在しない時間帯（B）も利用時間と見なして計算する。」

※データが存在しない時間帯（B）：エンジン停止想定時間

表示期間 表示開始 時間帯

1日 1週間 2週間 オプション

台数 表示期間

11台 2018/05/10

車両名 ↓

竜太郎 (AX7S)

HDL900 検証車 01 (大槻さん)

竜太郎 (EM1_AC)

第一営業部 1号車

第一営業部 2号車

大槻車 (トヨタノア)

0日 0.0%

オプション

利用時間・稼働率の計算オプション

走行中 アイドリング データなし

(A) (B)

アイドリング時間(A)も利用時間と見なして計算する

データが存在しない時間(B)も利用時間と見なして計算する

(注) オプションを変更しても、走行データを表す上記の帯の見え方は変わりません。

キャンセル 再計算

オプション

合計利用時間

29.8時間

15 16

2. DriveCast機能強化（オンデマンド到着予測機能）

- DriveCastタブ – オンデマンド到着予測機能を追加しました。
 - DriveCast画面の右下アイコンクリックにより、「ルート検索」画面を表示。行き先指定により到着予測時間をオンデマンドで予測可能



2. DriveCast機能強化（オンデマンド到着予測機能）



京橋MIDビル
到着予定日時：17:25
所要時間：約60秒
距離：約0.4km



京橋MIDビル
到着予定日時：17:25
所要時間：約60秒
距離：約0.4km

以下のページからインストールを行ってください。

<https://cariot.atlassian.net/wiki/pages/viewpage.action?pageId=1867800>

ページ / Cariot ウェブマニュアルへようこそ

30_アップデート案内

Takashi Inoueが作成し約 2 時間前に最終更新

このページでは、Cariotのアップデート方法(バージョンアップ方法)についてご案内します。

Cariot最新バージョン (1.48) 2017/04/20リリース!

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t28000000f2Sx>

上記の「インストールURL」をクリックするとインストールが始まります。

現在のバージョン	これからインストールしようとしているバージョン
インストール済み: Spring 2017 (1.45)	新しいバージョン: Spring 2017 (1.48)

管理者のみのインストール

すべてのユーザのインストール

特定のプロファイルのインストール

アップグレード キャンセル